

四半期報告書

(第29期第2四半期)

自 平成25年6月1日

至 平成25年8月31日

株式会社 **メディカル一光**

四半期報告書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書を末尾に綴じ込んでおります。

株式会社メディカルー光

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
第3 【提出会社の状況】	5
1 【株式等の状況】	5
2 【役員の状況】	6
第4 【経理の状況】	7
1 【四半期連結財務諸表】	8
2 【その他】	15
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	16

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年10月11日

【四半期会計期間】 第29期第2四半期（自平成25年6月1日 至平成25年8月31日）

【会社名】 株式会社メディカルー光

【英訳名】 Medical Ikkou Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 南野 利久

【本店の所在の場所】 三重県津市藤方501番地の62

【電話番号】 059-226-1193（代表）

【事務連絡者氏名】 常務取締役 管理本部副本部長兼経理財務部長 井本 秀景

【最寄りの連絡場所】 三重県津市藤方501番地の62

【電話番号】 059-226-1193（代表）

【事務連絡者氏名】 常務取締役 管理本部副本部長兼経理財務部長 井本 秀景

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第2四半期 連結累計期間	第29期 第2四半期 連結累計期間	第28期
会計期間	自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日	自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日	自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日
売上高 (千円)	10,183,805	11,095,429	20,574,659
経常利益 (千円)	546,548	595,690	1,036,163
四半期(当期)純利益 (千円)	558,987	342,250	790,939
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	630,996	301,243	852,130
純資産額 (千円)	4,804,644	5,231,216	5,025,777
総資産額 (千円)	15,326,837	16,622,846	15,624,970
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	291.73	178.61	412.78
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	31.3	31.5	32.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	378,341	766,062	828,644
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,715,840	△1,003,012	1,109,763
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△555,903	301,014	△301,698
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	3,724,089	3,886,586	3,822,521

回次	第28期 第2四半期 連結会計期間	第29期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日	自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	110.80	86.55

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 当社は、平成24年6月1日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社に異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済対策(アベノミクス)が好感され、円安・株高が進行し、輸出環境の持ち直し等により景気に緩やかな回復の兆しが見られるものの、実体経済は依然として厳しく消費増税に対する影響や雇用環境など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

医療界、介護業界におきましては、少子高齢化の進展に伴い高齢者人口が増加するなど、社会構造が変化していく中で効率経営が求められております。

このような環境の下で、当社グループは、医療・介護サービスの潜在的な需要が拡大するものと捉え、安全性を最優先としつつ事業規模の拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高11,095百万円(前年同期比9.0%増)、営業利益622百万円(前年同期比8.0%増)、経常利益595百万円(前年同期比9.0%増)、四半期純利益は342百万円(前年同期比38.8%減)となり投資有価証券売却益を計上した前期に比べ減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 調剤薬局事業

当社グループの調剤薬局店舗数は、1店舗増加し82店舗となりました。また、既存店におきましては、処方日数の長期化により処方箋単価が前年を上回り増収となりました。これらにより売上高9,850百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益770百万円(前年同期比12.9%増)となりました。

② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、平成25年7月に介護付有料老人ホーム「ハーモニーハウス伊賀上野」を開業し施設総数は9施設となりました。前期に開業した2施設も寄与し、売上高720百万円(前年同期比24.9%増)となりました。営業利益は新規開業費用の計上により22百万円(前年同期比72.3%減)となりました。

③ 医薬品卸事業

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品使用促進策に沿って市場が拡大する中で、積極的な営業活動を展開し、売上高488百万円(前年同期比23.4%増)、営業利益42百万円(前年同期比0.3%減)となりました。(内部売上を含む売上高は703百万円となり、前年同期比で20.8%増加しました。)

④ 不動産事業

不動産事業におきましては、保有する不動産からの安定した賃料収入により、売上高35百万円(前年同期比5.0%減)、営業利益18百万円(前年同期比10.0%減)となりました。

また、投資事業として、株式会社ヘルスケア・キャピタルは投資有価証券売却益17百万円を計上しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同現物(以下、「資金」という。)は3,886百万円となり、前連結会計年度末と比較して64百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、766百万円(前年同期比387百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益610百万円、仕入債務の増加190百万円、減価償却費176百万円があったものの、売上債権の増加189百万円、法人税等の支払252百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、1,003百万円(前年同期は1,715百万円の収入)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出782百万円、投資有価証券の取得による支出212百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、301百万円(前年同期は555百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の純増加401百万円によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000,000
計	6,000,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,035,000	2,035,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式 100株
計	2,035,000	2,035,000	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日	—	2,035,000	—	917,000	—	837,050

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
イオン株式会社	千葉県美浜区中瀬1丁目5-1	510,000	25.06
株式会社南野	三重県津市観音寺町4-4-6	234,200	11.50
南野利久	三重県津市	181,200	8.90
ハウス食品株式会社	大阪府東大阪市御厨栄町1丁目5-7	180,000	8.84
株式会社メディカルー光	三重県津市藤方501番地の62	118,900	5.84
メディカルー光従業員持株会	三重県津市藤方501番地の62	102,900	5.05
沢井製薬株式会社	大阪市淀川区宮原5丁目2-30	70,000	3.43
株式会社山陰合同銀行	島根県松江市魚町10	50,000	2.45
東邦ホールディングス株式会社	東京都世田谷区代沢5丁目2-1	48,500	2.38
菊川東	三重県伊勢市	40,000	1.96
計	—	1,535,700	75.46

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 118,900	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,916,000	19,160	—
単元未満株式	普通株式 100	—	—
発行済株式総数	2,035,000	—	—
総株主の議決権	—	19,160	—

② 【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社メディカルー光	三重県津市藤方501番地の62	118,900	—	118,900	5.84
計	—	118,900	—	118,900	5.84

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,822,521	3,886,586
売掛金	2,272,437	2,461,518
商品	908,309	890,659
その他	208,319	211,722
貸倒引当金	△1,100	△1,200
流動資産合計	7,210,487	7,449,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,614,065	3,926,320
土地	1,815,076	1,834,590
その他(純額)	262,462	489,055
有形固定資産合計	5,691,605	6,249,966
無形固定資産		
のれん	961,954	912,110
その他	177,710	197,903
無形固定資産合計	1,139,664	1,110,014
投資その他の資産		
投資有価証券	526,703	651,736
敷金及び保証金	436,734	503,936
その他	619,775	657,905
投資その他の資産合計	1,583,212	1,813,578
固定資産合計	8,414,482	9,173,559
資産合計	15,624,970	16,622,846
負債の部		
流動負債		
支払手形	8,848	7,637
買掛金	2,872,475	3,064,409
1年内返済予定の長期借入金	1,865,413	1,983,320
未払法人税等	320,129	329,537
賞与引当金	117,342	135,610
その他	380,433	521,206
流動負債合計	5,564,643	6,041,721
固定負債		
長期借入金	4,477,543	4,760,943
退職給付引当金	334,529	354,928
その他	222,476	234,037
固定負債合計	5,034,548	5,349,909
負債合計	10,599,192	11,391,630

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	3,401,478	3,647,923
自己株式	△199,265	△199,265
株主資本合計	4,956,262	5,202,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,514	28,508
その他の包括利益累計額合計	69,514	28,508
純資産合計	5,025,777	5,231,216
負債純資産合計	15,624,970	16,622,846

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	10,183,805	11,095,429
売上原価	9,024,444	9,882,453
売上総利益	1,159,360	1,212,975
販売費及び一般管理費	※1 583,274	※1 590,675
営業利益	576,086	622,300
営業外収益		
受取利息	481	472
受取配当金	10,073	8,439
助成金収入	2,182	450
業務受託料	1,982	1,949
その他	2,717	3,256
営業外収益合計	17,437	14,567
営業外費用		
支払利息	39,205	34,286
その他	7,770	6,890
営業外費用合計	46,975	41,176
経常利益	546,548	595,690
特別利益		
補助金収入	—	52,221
投資有価証券売却益	451,433	17,268
その他	9,231	—
特別利益合計	460,664	69,489
特別損失		
固定資産売却損	—	729
固定資産除却損	9,601	515
賃貸借契約解約損	431	1,000
固定資産圧縮損	—	52,221
特別損失合計	10,033	54,466
税金等調整前四半期純利益	997,179	610,714
法人税、住民税及び事業税	444,190	283,344
法人税等調整額	△5,999	△14,880
法人税等合計	438,191	268,463
少数株主損益調整前四半期純利益	558,987	342,250
四半期純利益	558,987	342,250

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	558,987	342,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,009	△41,006
その他の包括利益合計	72,009	△41,006
四半期包括利益	630,996	301,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	630,996	301,243

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	997,179	610,714
減価償却費	155,651	176,208
のれん償却額	48,577	49,844
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,532	18,267
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11,995	20,399
受取利息及び受取配当金	△10,555	△8,912
支払利息	39,205	34,286
投資有価証券売却損益 (△は益)	△451,433	△17,268
固定資産売却損益 (△は益)	—	729
固定資産除却損	9,601	515
売上債権の増減額 (△は増加)	△101,671	△189,081
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△73,529	17,649
仕入債務の増減額 (△は減少)	185,913	190,722
その他	△76,713	139,709
小計	748,753	1,043,784
利息及び配当金の受取額	10,403	8,801
利息の支払額	△37,464	△33,897
法人税等の支払額	△343,350	△252,626
営業活動によるキャッシュ・フロー	378,341	766,062
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△361,330	△782,618
有形固定資産の売却による収入	—	27,254
無形固定資産の取得による支出	△14,490	△30,558
投資有価証券の取得による支出	△557,094	△212,777
投資有価証券の売却による収入	2,747,357	41,428
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△80,421	—
事業譲受による支出	△35,502	—
長期前払費用の取得による支出	△1,430	△657
差入保証金の差入による支出	△1,715	△76,552
差入保証金の回収による収入	5,020	9,353
預り金の増減額 (△は減少)	14,638	△22,223
その他	809	44,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,715,840	△1,003,012
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△600,000	—
長期借入れによる収入	900,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△756,640	△798,693
リース債務の返済による支出	△3,458	△4,487
配当金の支払額	△95,805	△95,805
財務活動によるキャッシュ・フロー	△555,903	301,014
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,538,277	64,064
現金及び現金同等物の期首残高	2,185,811	3,822,521
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 3,724,089	※1 3,886,586

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

下記の団体の金融機関からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
医療法人財団公仁会	119,429千円	102,378千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
役員報酬	131,375千円	139,398千円
給与手当	138,003	138,681
賞与引当金繰入額	11,780	12,008
退職給付費用	3,644	4,726
貸倒引当金繰入額	336	500

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び預金	3,724,089千円	3,886,586千円
現金及び現金同等物	3,724,089	3,886,586

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 取締役会	普通株式	95,805	5,000	平成24年2月29日	平成24年5月8日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 取締役会	普通株式	95,805	50	平成25年2月28日	平成25年5月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,172,869	577,229	396,321	37,384	10,183,805	—	10,183,805
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,435	182	185,994	—	187,612	△187,612	—
計	9,174,305	577,411	582,315	37,384	10,371,417	△187,612	10,183,805
セグメント利益	682,187	82,781	42,123	20,441	827,533	△251,447	576,086

(注) 1 セグメント利益の調整額△251,447千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用254,120千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,850,297	720,675	488,959	35,497	11,095,429	—	11,095,429
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	182	214,522	—	214,705	△214,705	—
計	9,850,297	720,858	703,481	35,497	11,310,135	△214,705	11,095,429
セグメント利益	770,189	22,934	42,013	18,404	853,542	△231,242	622,300

(注) 1 セグメント利益の調整額△231,242千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用236,856千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	291円73銭	178円61銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	558,987	342,250
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	558,987	342,250
普通株式の期中平均株式数(株)	1,916,100	1,916,100

(注) 1 当社は、平成24年6月1日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月7日

株式会社メディカルー光
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水 野 信 勝 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西 原 浩 文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メディカルー光の平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メディカルー光及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。